

四ッ葉だより

No.96
2011.05

（あいさつ）

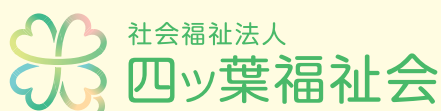
理事長 青戸 稔

東日本大震災の発生から間もなく三カ月。被災された方々の未だ癒されない心情を思うと、言葉もありません。津波で福祉施設が倒壊したり、原発の被害で施設ごと避難しなければいけない、といった困難な状況にあつて誰もが、懸命に支援にあたっておられる事に対して、一日も早い復興と、この国が元気を取り戻していくことを祈りつつ、私たちも、自分たちの出来ることをしっかりとやっていかなければ、との思いを新たにしているところであります。

今年は、心も体も「春」をあまり感じる事が出来ませんでした。この四月より新たに仲間になった方々も新しい生活に少しずつ慣れて来られたところ。今年度は「障害者自立支援法」に基づく事業体系に、全ての事業所が移行する年なので、日々の業務に加えて一方ではそのための準備を進めて行かなければなりません。

厳しい時代ではありますが、法律・制度が変わることに伴う施設体系の「目に見える変化」と職員一人ひとりの「目に見えない変化」による「有形無形の力」で一同団結して取り組んでいく所存ですので、今後ともよろしくお願い致します。

福社会のロゴがリニューアルしました



本ロゴの意味するもの

四つの葉、一枚一枚はハート＝心であり、心と心が繋がり合っている様を意味する

虹の色は、様々な色が混じり合っていてできおり、それは障がいを持つ方々の個性であり、それと向き合うすべての関係者を現している

心と心が繋がり合い、この虹が四ッ葉福社会と社会の架け橋となれるよう願いをこめより良い社会、自立生活を実現できるという確固たる意思を象徴している



「小回りが利いて使いやすく喜んでいきます♪」

寄贈

5月19日、当法人の前副理事長、富田幹彦氏のご縁により、出雲東地区郵便局長会様より、車椅子2台の寄贈がありました。大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

研修報告

「特定給食施設等栄養管理
担当者研究会に参加して」

二月二日に出雲市で開催された研修会に参加いたしました。この研修会では、「健康危機管理時の栄養・食生活と栄養士の役割」という講演を聞き、次にグループワークを行い、実際に災害が起きた時にどのように対応するかを話し合いました。非常食の備蓄は重要であり、三日分は必要だとされています。四ツ葉園では災害時に対応できるように米や味噌等を備蓄しています。また、新たに災害時給食提供マニュアルを作成し活用できるように取り組んでおります。

三月十一日に起きた東日本大震災を受け、健康危機管理の重要性は大きくなっています。利用者のみなさんに安心して安全な食事を提供していけるよう栄養士と厨房職員で連携していきたいと思っております。

(河田 祥枝)

地域交流会

三月四日(金) 中古志公民館にて、四ツ葉園と中古志地区自治会の皆さんとの交流会を開催しました。近年は地区内を作業・散歩などで顔を会わせることは多いものの、あいさつ程度になっており、行事参加なども少なくなりつつあります。地区の方々からも、もっと四ツ葉園のことを知り、交流を深めたいとの要望をされ、今回はまず第一回目の顔合わせということで、四ツ葉園がこれからの制度にのっとり、現在すすめていることと、取り組みの説明、地域の皆さんからも自己紹介をしていただきながらの会食を行いました。

この古志地区に開所以来四半世紀、地域の皆さんの多大なご協力をいただき、ここまで四ツ葉園の事業を拡大することができたことを振り返り、地域に根付いた福祉を念頭に置いて今後も交流を深めさせていただきたいと思っております。

(若月 満)

城山お花見会

4月10日の日曜日、授産センターよつばでは総勢38名が参加し、大勢の花見客でにぎわう松江城山公園にてお花見を行いました。

一昨年、昨年と天候不良に見舞われたお花見でしたが、今年は快晴、満開のさくらの花を楽しむことができました。青い空と緑の芝生、そしてピンクの桜に囲まれて食べる四ツ葉の手作り弁当はとても美味しく、話もはずみます。

池の亀を見てはしゃぐ人、出店でお土産の栗まんじゅうを購入する人、寝転がってお昼寝をする人、など皆思いの時間を過ごされ、普段とはまた違った表情を見ることができました。生き生きとした笑顔にあふれ、皆リフレッシュできたことと思います。

桜の花の放つ癒しのパワーを体中に感じ、今年もまた楽しい思い出ができました。

(来間 桂子)



ディナー Party



3月25日、平成22年度最後の行事として恒例のディナーパーティーがホテル一畑で行われました。利用者・職員、総勢211名が、取って置きのお洒落をして、フランス料理のフルコースで、楽しいひとときを過ごしました・・・新しい仲間も加わり『新年度からも皆で頑張ろう!』

新入職員紹介

村竹 まり子

今年の二月より四ツ葉園で勤務させていただいております。来待ストーンや大森の湯等がある穴道町来待より通っています。以前は小さい子ども達相手の仕事をしていましたので対象が違い、ご迷惑をかけたたり至らない事もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

秋鹿 良輔

私は、本年度四月より四ツ葉園に入社致しました、秋鹿良輔（あいかりょうすけ）と申します。私は、地元は松江ですが、高校を卒業してから広島県福山市の大学に四年間行き、そのまま福山で福祉の仕事をする

年間程勤めておりました。地元を離れ七年間経ち、久々に地元に戻り、こうして同じ福祉の仕事が出来ることを心より嬉しく思います。

まだ不慣れな点が多く、戸惑うことも多々ありますが、利用者の方々と共に頑張っていきたいと思っていますので、宜しくお願い致します。

本年度四月より授産センターよつばで勤務させていただいております。中倉いづみと申します。はじめての福祉の仕事で、不慣れな事が多くて毎日が新鮮です。

中倉 いづみ

至らない事ばかりかと思いますが、宜しくお願い致します。

給食メニュー紹介



これは、4月20日の夕食の写真です。主菜はメカジキの竜田揚げで、四ツ葉園で定番のメニューです。

主菜のお米は地元産であります。また、副菜のおひたしは、地元産のあすっこを使用しています。あすっことは、ブロッコリーとビタミン菜を交配したもので、島根県で生まれた新しい野菜です。甘みがあり、おひたし等に向いています。

味噌汁の具は、農耕班で採れた高菜を使用しています。

このように、地元産の新鮮な食材を使用したり、農耕班で収穫した野菜を取り入れたりして、メニューを作成しています。地元産の野菜を使用することは地産地消につながります。これからも、地域の生産者の方に協力して頂き、利用者の皆さんに喜んでもらえるような食事作りをしていきたいです。（河田 祥枝）

地域と連携した防災活動を目指して

去る三月二十九日四ッ葉園ではかねてより予定されていた総合防災訓練を実施しました。震災後ということもあり、職員皆、前回以上に真剣に取り組んでおりました。防災委員会では年二回以上の避難訓練・消火訓練の実施の他に防災研修や時事に就いての啓発活動を行っております。私は務め始めて現在まで多くの災害を目にしてきました。鳥取の大地震や松江を襲った大雨・洪水・豪雪。柿原池の決壊・峯垣地区の住民避難など。大雨の際は佐陀川が増水して周辺道路の多くが冠水したことをよく覚えています。過去、四ッ葉園も建物の南側斜面が大雨で崩落して大規模な復旧工事となる事態がありました。

した。都度、小・中災害時の緊急会議や備蓄の強化・マニュアル作成などを出来る範囲で準備してきましたが、顧みると地域との防災連携という点は弱かったと反省しております。平成二十一年に古志町において防災マップが作成され、この四ッ葉園は高台の地の利を生かし水害時の地域の避難集結場所として指定されております。今後さらに町内会との連携を密にすべく会合での情報交換や避難訓練への見学招待など考えております。甚だ勝手では



編集後記

例年より遅れてはいいますが、暖かくなり新緑にあふれる時期となりました。

三月、未曾有の災害が東日本で起こりました。未だ不慣れた生活を強いられる方が数多くいらっしゃいます。ですが、物資は行き届き始め、地域内で支え合いつつ、ボランティアなどの力も加えて徐々に復興の歩みが始まっています。避難所での自治など地域内の助け合いを知らせるニュースも見かけ、地域の力や結びつきを改めて認識させられました。

【行事予定】

6月	10日(金)	全体集会
	15日(水)	工賃支給(授産センターよつば)
	24日(金)	工賃支給
	28日(火)	授産会議
7月	1日(金)	ガーデンパーティー
	11日(月)	全体集会
	15日(金)	工賃支給(授産センターよつば)
	25日(月)	工賃支給
	28日(木)	授産会議
	29日(金)	海水浴
	10日(水)	全体集会
8月	12日(金)	盆帰省日
	15日(月)	工賃支給(授産センターよつば)
	16日(火)	盆帰園日
	25日(木)	工賃支給
	26日(金)	理事会・評議員会
	29日(月)	授産会議
	12日(月)	全体集会
9月	15日(木)	工賃支給(授産センターよつば)
	22日(木)	工賃支給
	26日(月)	授産会議

ありますがその節はどうかご理解・ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。
(防災委員長 入江 俊介)

四ッ葉だより №96
平成23年5月25日発行

発行所
社会福祉法人 四ッ葉福祉会
〒690-0121 松江市古志町 1551-4
TEL: 0852-36-8877
FAX: 0852-36-8894

編集・印刷
四ッ葉園広報委員会

※本紙に使用した写真等は本人・家族の方の了解を得ています。